

会津信用
会津
甲州屋

あいつばんげ

1 平成13年
No.426

天
下
泰
平



21世紀
笑顔が輝くまち

1月14日初市・奇祭大俵引き

新年賀詞

笑顔輝く人が住む

ひとにやさしいまちづくり



会津坂下町長

竹内 昶俊

輝 かしい二十一世紀の新年を町民の皆様と共に迎えますことを、心よりお喜び申し上げます。

「まちづくり二〇〇一委員会」を中心に進めておりました、第四次会津坂下町振興計画基本構想の策定も終了し、いよいよ今年の実施の年度を迎えます。私は、この愛するふるさと「会津坂下町」を、未来を担う子供たちに誤りなく継承できるよう、振興計画を基本に、よりよい町づくりのために務めたいと考えております。

昨年を振り返って

さ て、昨年を振り返ってみますと、四月からスタートし

た、高齢者に対する介護保険制度もおおむね順調に経過し、保育所移転改築工事についても工程通りに進んでおり、二月下旬には引っ越しをする予定です。教育面では、町内すべての小学校にパソコンを導入し、来るべきIT化の時代に向け、それぞれの学校で独自の取り組みがなされております。古墳文化を取り上げた「発掘成果展」の開催により町の歴史の一端を広く紹介することもできました。また、岩手医科大学理事長で新開津出身の大堀勉氏を名誉町民として推戴することに対し、町議会で満場一致の賛成をいただきましたことは、大きな喜びとするところであります。

今年の抱負

い ま、新世紀の新年にあたり、明治十八年に内閣制度ができて以来の大改革といわれる新中央省庁体制が一月六日からスタートし、内閣主導で政策をスピーディーに決定する政治主導の仕組みが整備され、改革の趣旨を積極的に生かすために、その関係者の意識の改革が求められております。

会津坂下町においても、今年度は第四次振興計画実施初年度でもあることから、事業推進の牽引的組織の形成を図るために、四月一日より町の行政組織機構改革を実施して参ります。町民福祉の向上を目的として、最小の経費で最大の効果を実現し、役場機能と職員の能力を十二分に発揮できるように仕組みづくりを目指します。

また、一月四日から、東北電力株式会社旧坂下営業所の跡地が役場東分庁舎としてスタートしました。まちづくりの中核的な施設として商工観光課とまつりセンターを配置し、四季折々の祭りや、ふるさと坂下の観光行政の推進を図って参りますので、気軽にお立ち寄り下さい。

水田農業経営確立対策事業につきましては、米価の下落に加

えて、四十八・八haの生産調整の緊急拡大分としての追加配分は、農業経営のみならず、地域経済に与える影響は大きいものがあります。現状を真正面から受け止め、夢を描ける農業のあり方を策定していきたいと考えております。

さらに、教育行政における学校評議員制度の実施、学校週五日制の実行に向けた体験活動の情報提供できるシステム整備の検討、加えて、昨年に引き続き、中岩田住宅建替事業や土地の有効利用を図るための都市計画・区画整理事業の促進、公共下水道事業による下水道普及率の向上、道路改修事業等、広範な事業が山積しておりますが、行政機構改革に順応して積極的に取り組みたいと考えております。

新年にあたり所信の一端を申し述べましたが、厳しい財政状況の中で、就任以来の基本理念である「変革・実行力を基本とした子供達の未来のためのまちづくり」を重視し、対話を第一として、住んでいる人が自慢できる、人にやさしい会津坂下町の創造に向けて全力を傾注して参りますので、町政に対する格別なるお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。新年の挨拶といたします。



業績をたたえ

晴れの功労者表彰

平成十二年度の会津坂下町表彰式が、十二月十二日健康管理センターで行われました。今回表彰を受けたのは、それぞれの分野で町政の発展や公共の福祉向上に尽くされた十六名の方々です。永年の功績に対し、竹内町長から表彰状と記念品が贈られました。

特別功労表彰

。前町議会議員

寺崎 覚(金上)

。前町議会議員

佐藤 浩平(八日沢)

。前町議会議員

千葉 正年(原)

。前町議会議員

渡部 文彌(鉄砲町)

。前町議会議員

芥川 正彦(青津)

。前町議会議員

大竹 學(片門)

。前町議会議員

中島 隆一(大江)

。前町議会議員

齋藤 善弘(中政所)

功労表彰

。前納税組合長

福地 茂夫(緑町)

。消防団員

川上 義市(鉄砲町)

。消防団員

田中 勇一(大沢)

。町民歌作詞

堀 新三郎(大村)

善行表彰

。教育振興のため片門小学校へ
ブロンズ像寄付

山口 林助(窪)

。教育振興のため現金五十万円
寄付

佐藤 時江(青木)

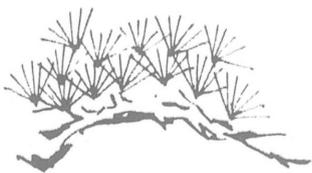
。教育振興のため現金百万円寄
付

二瓶 義春(新富町)

。福祉向上のため車椅子搭載型
車両寄付

ライオンズクラブ国際協会
三三二-D地区第四十六回
年次大会大会会長(ガバナー)

中島 輝哉



カメラポ



初春を彩る伝統行事・初市大俵引きが一月十四日、五穀豊しよう、商売繁盛を願って役場前ライヴァン通りで勇壮に行われました。雪まじりの強い風が吹きすさぶ中、沿道を埋めた大勢の観衆から熱い声援が送られました。スポーツ少年団の俵引きが行われたあと、大俵引きでは北海道や三重県からの参加者など約四百四十人で東西に分かれ引き合い、その結果東方が二勝一敗で勝ち、「米価が上がり、商売繁盛」と出、景気回復が期待されます。大俵引きの後、福豆俵まきの行事が繰り広げられ、今年の福を求める人達でにぎわいました。

今年の福を求めて

初市 奇祭 大俵引き



21世紀 わたしたちの時代です



富くじで幸運を当てた
吉井絵美さん



—無火災を
祈願して—

1月6日 会津坂下町消防団の出初め式が坂下第一中学校体育館において行われました。式では今年一年の無火災を祈願し、防火の誓いを新たにしました。



元気にミニ俵を引く スポーツ少年団



—新春交歓会—
新世紀一層の飛躍誓う

1月9日 町の新春交歓会がパストラルホールBANGEで開かれ、各種団体、各事業所の代表の方など250名が出席し、新世紀と今年一年の飛躍を誓い合いました。



—わたしたちの
歌をきいて—

12月27日 坂下小学校合唱部50人が老人保健施設「なごみ」を慰問して、手話を交えながら、わらべ歌や遊びの歌をプレゼントしました。お年寄りたちも子供たちと一緒に口ずさんだりして楽しい一時を過ごしました。

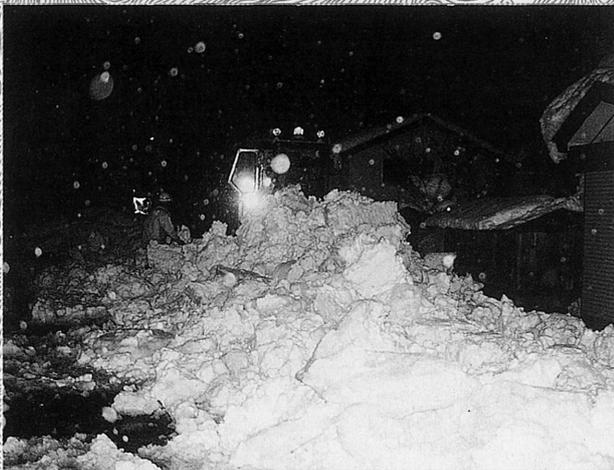
早速町役場に雪害対策本部が設けられた



ドカ雪街を襲う



除雪中にも容赦なく無情の雪が舞う



夜間も間わずの除雪作業、本当にごくろうさん!





瑞祥新春

在京会津坂下会会長

結城 浩

明けましておめでとうござい
ます。

会津坂下町町民の皆様にはお
健やかにご家族お揃いにて、新
生二十一世紀スタートの新春を
お迎えなされたこととお慶び申
し上げます。

二十世紀は二度の世界大戦を
はじめ天の怒りとも云うべき大
災害・大事件が世界各国に頻発
し、また経済の激動は勿論国際
政治も混迷を極めた時代であり
ました。二十一世紀こそは紛争
や災害のない平和で人類の幸せ
と繁栄の時代であってほしいと
念願いたしております。

改まった新しい年は「干支」
では「辛巳かのよ」の年であり、陰か
ら陽に転ずる明るい展望の年と
いわれております。われわれの
若い時代より一変して、ITの

急速な普及により情報・流通界
は画期的な革新をとげつつあり、
経済も文化も大都市と地方との
差はなくなりつつあります。ま
た行政も中央集権から地方分権
へと改革が進みつつあり、地方
行政の主体性が一層強化される
ことは目前のことです。

その中であって会津坂下町の若
き人々が「血と心と言葉でつな
がるふる里」の伝統美と清らか
な自然景観を愛して「会津坂下
町こそわれわれの生きがいの地
である」と思うような町づくり
を願うものであります。

会津坂下町が豊かで明るい活
気あるふる里であることが在京
会津坂下会員にとって何よりの
誇りであります。

要な課題となることは明らかで
すが、幸いに若き町長さんの中
心に明るく活性ある町づくりを
推進されておられることに大き
な希望をもっております。また
会津坂下町の名所旧跡や特産物
のPRを積極的に推進すること
も必要であり、在京会津坂下会
としてもお役に立つことがあれ
ばご協力を惜しまないものであ
ります。

会津坂下町が会津西部の中核
都市として益々発展すると共に、
近い将来市制の誕生も夢ではな
いだろうとご期待いたしており
ます。

最後になりますが、会津坂下
町の一層の躍進と町民の皆様の
ご健勝とご多幸をお祈りいたし
まして念頭のご挨拶と致します。

卓 食 せ わ せ し



保健推進員

五十嵐 美代子さん

(西青津)

～ワンポイントアドバイス～

豆腐はCaもFeも豊富です。炒めて作
るみそ汁は、いちだんとおいしいです。
これからのシーズン、実だくさん汁で、
バランスアップ。

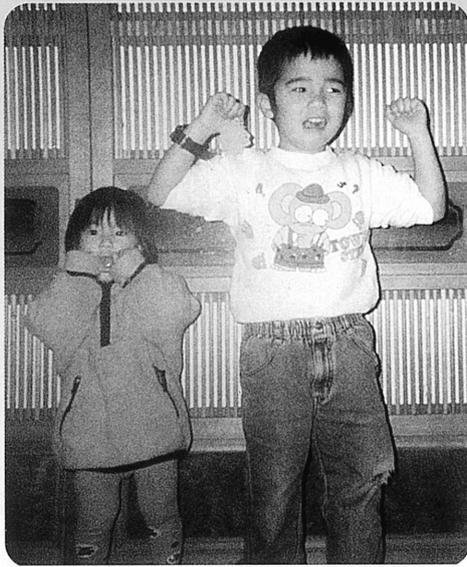
(4人分)

－炒り豆腐のミルクみそ汁－

材 料 名	作 り 方
豆腐 …………… 1丁	①鍋にごま油を入れ、しょうがのみじん切りを炒め、ひき肉を加えてそばろ状に炒る。ここに、水切りした豆腐を加えて、さらに炒る。 ②大根、人参はいちょう切り、えのき茸は½に切り、ごぼうはさがきにしておくを抜く。 ③①に②とだし汁を加えて煮込み、煮えたら火を止めて、みそを加え、牛乳と小口切りの長ねぎを入れて出来上がり。
大根 …………… 100g	
人参 …………… 50g	
えのき茸 …………… 100g	
みそ …………… 大さじ2	
牛乳 …………… 100cc	
鶏ひき肉 …………… 100g	
根しょうが …………… 1かけ	
長ねぎ …………… 1本	
ごぼう …………… ½本	
ごま油 …………… 大さじ1	
だし汁 …………… 800cc	

1人当たりカロリー 188cal

わが家のアイドル



吉田 将大 くん (4歳8ヶ月)
 まさひろ
 真琴 ちゃん (1歳11ヶ月)
 ままこ

古坂下・吉田 正雄 雄美 夫妻の長男・長女

我が家のアイドル将大と真琴は、二度目の会津の冬を過ごします。二人とも中通り生まれで、会津の冬に戸惑いがちですがでも今年で二年目ノ以前は福島空港に二分の所に住んでいました。お兄ちゃんも保育園に行き、毎日の喧嘩は無くなっただけどやっぱりお兄ちゃんが居ないと暇で寂しそうな真琴です。お兄ちゃんのお迎えが待ち遠しそうです。

こんなマコとマーを直しくね!!

(お母さん)

ふれあいリレー



大島 悦子さん
 (大上)

『わが町』『まだまだ捨てたもんごもない』

二十一年一月一日。二十一世紀の幕開けである。千年前の人達は今の生活を想像することができたであろうか。百年前の人達はどうであろうか。二十一世紀を生きる私達が百年後や千年後の生活を想像することは難しい。しかし、二十一世紀を担う子供たちの様子を見てみると、百年後どころか半世紀後の生活だって危惧せざるを得ない状況にあると思う。

新聞のトップニュースを飾る少年犯罪、繊細な心を持ち自分を取り巻く問題に耐え切れず、自らの手でたった一つの命を絶ってしまうなど子供たちは大きく変わってきている。わが町の子供たちもずいぶんと変わってきている。たばこを吸いながら歩く男子生徒、吹雪の中ストックキングもはかず(これを生足なまみというらしいが)歩く女子生徒。このような子供たちの健康面を考えると、次世代を担う子孫を残すことができるのだろうか懸念される。茶髪やピアス、けばけばしい化粧。自己表現の手段の一つ

かもしれないが、半世紀近くを生きてきたおばさんにとっては納得がいかない。こんなことを言うのが高校生の息子に「人間を表面的なことで判断しないで」と言われそうである。表面は『にせもの』であっても、内面はこの世の中でたった一つの存在である自分を愛する『ほんもの』であってほしいと願わずにはいられない。

人生の後半戦を迎えた私は自分の老後を考えるようになった。時々私が生まれ育ったこの町で豊かな老後を過ごすことができるのだろうか、子供たちは将来みんなに優しい町づくりをしてくれるのだろうかと思うことがある。ある日中学生の息子が、「これを見て。兄ちゃんの友達が載っているよ」と言って一冊の冊子を持ってきた。『会津坂下町少年主張大会文集』である。その子は明るくてユーモアのある子供である。彼の主張を一気に読んでしまった。あのユーモアの中にはしっかりとした考えが根底にあったのだと思った。そう思うと他の子供たちの主張も読んでみたくなった。自分を見つめ素直にその考えを表現したもののや人との関わりから学んだこと、目標や将来の夢を語っていたものなど子供たちが今を一生懸命に生きているひたむきさが伝わってきた。子供たちの主張を読んで、『わが坂下町』はまだまだ捨てたもんでもないと思った。

かぜを予防しましょう

かぜは日常生活のちょっとしたスキをついて入り込んできます。

かぜをひかないようにするには、普段からの体づくりと健康管理を心がけることが大切です。



すこやか

手を洗う

かぜの基本的な予防対策は、手を洗うことから始まります。なぜなら、かぜのウイルスは、空気感染よりも人と人の手を伝わって感染することの方がはるかに多いからです。



うがいもある

うがいは、口の中にいる細菌やウイルスを洗い流す作用があり、口の中を清潔に保つために簡単でよい方法です。



部屋の換気と湿気に注意

汚れた空気がよどんでいれば、かぜのウイルスだけでなく健康そのものに影響を与えます。ときどき換気するようにしましょう。多くの暖房器具は、室内の空気を乾燥させてしまいます。乾燥した空気はかぜのウイルスに好都合になり、また、かぜをひいている人ののどをさらに痛めることとなります。湿度にも気をつけてください。



厚着をしない

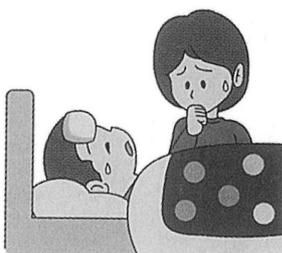
厚着は、外気の温度変化に対する適応力を弱めます。また、不必要な発汗作用を引き起こす原因ともなります。厚着は避け活動しやすい服装にしましょう。



インフルエンザは“かぜ”と似ているけれど違います。

インフルエンザの軽いものは、他のウイルス感染によるかぜとの区別はできませんが、インフルエンザの多くは、かぜよりも症状が激しく、肺炎など合併症もおこしやすいのが特徴です。くしゃみ、鼻水、軽いせきと微熱程度でインフルエンザを恐れる必要はありませんが、右記のような症状があるときは、インフルエンザを疑い、注意する必要があります。

- 1 38.5度以上の熱が続く
(一度下がった熱が再びでてくることも多い)
- 2 激しいせきがでる
- 3 のどが強く痛む
- 4 関節痛や筋肉痛、腰痛などの痛みがある





俳句

★公津つくし吟社

金運にあやかり買ひし実万両

遠藤 淳子

冬晴や黒点となる鳶見つむ

鈴木芳もと

初暦未来図にある宇宙駅

平野 志津

農機みなおさまって注連飾らる

林辺 芳女

正月を待たで一夜に雪の嵩

村山 萌千

★あすなる吟社

白菜を積みて砂喰む猫車

佐野 浄信

わだかまり出湯にとかし年わすれ

渡部 洋子

師走風吹きたまりたる百貨店

古川 一耕

米搗の音も師走の音となり

伊藤みつえ

水神講清掃あとの玉子酒

五十嵐末子

★つるめま吟社

冬至風呂太く伸びてる生命線

広木 祐喜

朝の日に羽繕ひする寒雀

山内 惣吉

陽を受ける庭の飛石寒雀

平田 典子

秋日和背中ぬくめて一人言

猪俣 竹華

落葉して月の明るさ欲しいまま

伊藤 豊

★つぐいす吟社

大白菜ざっくり割る時女です

江花 さ霧

白鳥の湖光の一日かな

大島 茜

追憶や独りの窓辺冴返る

江花わか葉

掘り起こす葱に艶あり風の声

清水そよぎ

はりはりと白菜摘めばいのちの香

山垣 桜子

★ひまわり吟社

初雪や子等喚声を上げて駆く

蓮沼 希世

観音像落葉一枚頭でとらふ

安部 吾舟

落葉掃く音もかさねて焚きかけ

荒堀 けい

土つき大根どつと売れいて朝の市
木村 重子
看板に木枯さけてバスを待つ
佐藤テツ子

★金上耕衣吟社

山茶花のみだれて月光重なりぬ

千葉 仙山

山茶花の垣根に映える父の影

二瓶 彩雨

山狭の廃家さざん花旅の窓

小林 惣治

山茶花と競ふ遠山雪を着て

本田 無患

山茶花の露地の近道濡れている

荒明 香苑

短歌

★坂下歩道短歌云

ひたひたと闇ひろがりて雪囲ひ

終るころほひ冴ゆる月光

伊藤 静子

石垣の影暗かりし溝の上

鳴らが上ぐるしぶきの寒し

斎藤 恵子

見えぬ目も歩けぬ事をも嘆かず
にをりをり在りし日のわが母よ

畑 京子

善意に感謝します

**バザー収益金
二万二千円寄付**
立正佼成会両沼教会坂下支部(代表菊地君枝)は町福祉のためにとバザーの収益金二一、〇〇〇円を寄付されました。



町福祉向上のために 三十五万円寄付

(株)シモン会津工場は町福祉のために役立てて下さいと、三十五万円を寄付されました。



編集後記

● 新年あけましておめでとう
ございます。今年もよろしく
お願い致します。21世紀はさ
て、何が主の時代になるので
しょうか。

● 宇宙への挑戦。様々なロボ
ットの開発等。遺伝子の解説
による人間の生命に対する研
究。限りなく存在するよう
です。
しかし、私たちの日常生活

● 近年、成人式の式典中に席
に着かなかつたり、来賓の話
を聞かずに私語に夢中だつた
りが全国的にあつたようです
が、今年も一部出席者による
非常識な行動が報じられてい
ました。「二十歳とは」をよ
く理解してないようですね。
何と言っても、日本人として
の意識だけは失って欲しくな
いものです。

会津坂下町文化財調査委員長

古川利意

勝方



雪の勝方地区全景

カチガタ・カツガタふた通りの発音がある様ですが、『会津坂下町史』には、カチガタとふりがながありますので、これにならってカチガタとします。

勝方の地名のいわれが、寛文五年（一六六五）『稲川領牛沢組郷村万改帳』の感応神社のところに載っています。

「村より辰巳の方四町四十間にある。由来は、八幡太郎義家の次男が逝去後、感応明神となって飛んできてこの場所に落ち

着いた。ところが、塔寺八幡がこの稲川領は我が氏子である。なぜこの場所に居るのか。と、云いますと、感応明神が云うことには、ここは大沼・稲川の境であると頑張って、論争に勝ったので村を勝方と名づけたのだそうです。

感応明神は、今は多賀神社になって、場所もお寺の近くに遷座されています。おもしろい伝説ではありませんが伝説はあくまで伝説で、事実とするにはむりがあります。そこで例の通りカチガタの地名を少々意地悪く考えてみます。

『角川日本地名大辞典』の福島県分を調べても、「勝」のつく地名は、勝方と坂下町青木付近にあった勝木沢村の二つだけ

ですが、全国的には勝山・勝沼・勝浦などがあります。山中囊太氏は『地名語源辞典』の中で「地名にはいわゆる南方的語順というのがあって、主語と述語が逆転しているものがある」といいます。しかも、勝は方と同じだといっています。勝山は山の近く、勝浦は浦の近く、勝沼は沼のほりと、という意味なそうです。これに従うと勝方は同じ意味なそうですから、勝方は方方となってしまう。これもあるいは片方（かたがた）の意味があるものかも知れませんが、一方が急に落ち込んだ山のふもとを片（かた）というそうです。

勝方は古い村で、南朝・北朝のころは、常陸真壁に本拠を持つ

つ真壁氏の所領となり代官がおかれたこともあります。お寺の後山には、立派な城跡が残り、小林法印の観音堂があったという山の上には、空堀・土塁・廓の三点セットの館跡があります。

町の人口と世帯

(1月1日現在)

人口…… 19,424人 (-27)
 男…… 9,387人 (-12)
 女…… 10,037人 (-15)
 世帯数…… 5,515戸 (-8)

戸籍の窓口

(12月届出分)

お誕生おめでとう

茶屋町	荒明	友也	(和孝)
新村	石田	博之	(充博)
杉山	田中	聖人	(秀昭)
上開津	五十嵐	まみ	(幸一)
八日沢	佐藤	平泰	(暢一郎)
新富町	齋藤	蒼り	(秀和)
和泉川原	五十嵐	あい	(貞範)
鉄砲町	小椋	千尋	(進)
青木	稲村	聖矢	(勇樹)

ごめい福をお祈りします

橋本	上野	清久	(91歳)
大江	中野	ヨシノ	(90歳)
大金	成田	徳夫	(81歳)
桜木	佐藤	敬子	(68歳)
五香	相良	莊	(64歳)
西青	津五十嵐	チエ子	(80歳)
新開	津遠	スガイ	(84歳)
村田	大堀	チイ子	(75歳)
塔寺	山内	オワイ	(88歳)
赤城	新田赤城	俊夫	(89歳)
御池	田菅	榮	(84歳)
五香	唐司	ツヤ子	(85歳)
新町	岡部	武美	(77歳)
牛沢	新井田	アイ	(83歳)
緑町	猪俣	正志	(72歳)
桜木	町齋藤	トシ子	(85歳)
中政	所武	清市	(69歳)
気多	宮酒	井義	(77歳)
金沢	遠藤	清治	(86歳)
村田	新田吉	井笙	(73歳)

<敬称略>

お詫びと訂正

広報あいづばんげ12月号の掲載で、叙位を受けられた阿部秀雄氏は阿部秀夫氏の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。